

1 総説

1.1 設置目的

本学では平成 16 年 4 月に国際交流推進機構を設立し、担当理事のもとで国際交流協定校を増加させ、また留学生受け入れ数も少ないながら順調に伸ばしてきた。平成 29 年度で留学生の受け入れ数は 215 人にのぼる。国際交流推進機構は平成 20 年度に国際交流センターとなり、平成 23 年度以降、日本語教育専任教員 3 名と、非常勤講師数名の体制で日本語教育事業に従事している。

センターの主な役割としては、留学生に対する日本語教育とともに、①国際戦略の策定、②広報および地域の国際化支援、③留学生支援、④日本人学生の海外留学支援、⑤国際交流教育が挙げられ、大学全体の国際交流がより組織的に、活発に行われるよう、専任教員を中心としてセンターが機能することが期待されている。

1.2 沿革

平成 20 年 1 月	教育研究評議会において学内措置としてセンターの設置が了承
平成 20 年 4 月	センター発足 大学本部棟国際交流課にセンター長室を置き、センター長（兼任）、副センター長（兼任）の体制でスタート
平成 20 年 6 月	専任教員（准教授）1 名採用 教育文化学部内に研究室を借用
平成 22 年 4 月	一般教育 1 号館に移動し、教員研究室 2 室、多文化交流ラウンジを新設
平成 22 年 8 月	専任教員（准教授）1 名採用
平成 22 年 9 月	センター長室を新設
平成 23 年 4 月	専任教員（助教）1 名採用 専任教員 3 名体制
平成 25 年 3 月	専任教員（准教授）1 名退任
平成 25 年 4 月	専任教員（助教）1 名採用
平成 26 年 3 月	専任教員（准教授）1 名、専任教員（助教）1 名退任
平成 26 年 4 月	専任教員（助教）2 名採用 専任教員 3 名体制

1.3 国際交流センターの運営組織

組織図

